



【世界自然遺産奄美トビイル天城町エリア開通式】

2月11日(火)、世界自然遺産奄美トビイル天城町エリアの開通式が当部・茶処あがりまたを起点とするトビイルコースで行われました。開通を祝してアキアットやトビイルウオーウが行われ、約150名の参加者がサクラの咲く当部路のウォーキングを楽しみました。

令和2年度施政方針

令和2年第1回天城町議会定例会が3月3日に開会し、森田弘光町長が令和2年度の町政運営について施政方針演説を行いました。その全文を掲載します。

はじめに

本日、令和2年第1回天城町議会定例会が開催されるにあたり、町政運営の基本方針と施策の概要をはじめ、町政運営の基本となる令和2年度予算案を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、今年は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録の可否が夏頃決定いたします。国・県・関係者が連携協力し、実現することを皆様とともに強く願っております。

また、鹿児島国体の開催年でもあります。天城町は、「トライアスロンIN徳之島大会」を昭和63年から毎年開催してきたその実績が評価され、国体トライアスロン大会の開催地となっております。「第

33回トライアスロンIN徳之島大会」とあわせて、選手の皆様に徳之島にきてよかったと思っただけのような大会にするためにも、町民の皆様のご協力、応援をどうぞよろしくお願いいたします。

奄美群島振興開発事業につきましては、奄美群島振興開発特別措置法の法延長に伴って拡充された奄美群島振興交付金を活用し、令和2年度は「大和城観光地連携整備事業」や「合宿日本一の島」推進事業」をさらに推進するとともに、今後も町民のニーズに柔軟に対応するべく、先端技術を取り入れた事業の検討や加工品販路拡大実証事業の導入に取り組んでまいります。

地方創生につきましては、新たに策定される「第2次天城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基

づき、人口減少や雇用の創出、産業の振興など、本町の抱える様々な課題の解決に向けて取り組んでまいります。

本町は昭和36年1月1日に町制が施行され、令和3年1月1日には60周年を迎えます。令和3年度には記念式典を開催し、これまでの本町のあゆみを振り返るとともに新たなスタートを多くの皆様と祝いたいと考えております。

以上のような時勢を踏まえ、事務系を中心に課の再編を行ったところです。保健福祉課は福祉分野と医療・保健分野に分け、また税務課と町民生活課を統合して窓口の統一化を図ります。より実効性のある事務作業を行うため、企画課を「企画財政課」に課名変更を行い、企画係と財政係の連携を強化させてまいります。そして新たに「ふ

るさと創生室」を設置し、ふるさと納税及び移住・定住促進と空き家対策の強化を図ります。これに併せて、広報係と情報対策係(電算・A Y T)を総務課に移行します。

私のモットーであります、「まず隗より始めよ(率先垂範)」「スピード感を持って対応」「必ず記録・メモをとろう」を職員と共有しながら町民サービスのさらなる向上に努めてまいります。「住んでよかった。暮らし満足度NO1のまち」を目指して、町民の皆様の意見をお聞きしながら町づくりを粉砕身取り組んでまいりますので、どうか皆様のさらなるご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以下、重要施策につきまして説明申し上げます。

① 安定した雇用を創出する

(1) 農業・水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上

農業立町である本町は、サトウキビやバレイシヨをはじめとする畑作物の栽培や肉用牛経営、施設園芸作物などを組み合わせた複合経営が行われております。

農業の振興は町の活性化と経済を大きく左右いたします。今年50回の節目を迎える「天城町農業祭」では、農家の皆様の農業への活力と意欲に繋がるような企画をしてまいりたいと考えております。

また、今年1月には「さとうきび価格等の引き上げを求める請願」の署名活動で、町民の皆様には大変お世話になりました。今後さらに機運を高め要請活動を行うなど、さとうきび価格の引き上げに力を注いでまいります。

基幹作物であるサトウキビにつきましては、豊作を期待しておりましたが、多回株出しやイノシシ被害等により収量が伸びず本町においては5万9千トン、徳之島三町では約16万1千トンの見込みとなっております。

多回株出しや農家の高齢化と後継者不足に伴う農家戸数の減少等

が大きな課題ではありますが、令和2年夏植えより手植え農家に対し「手植え助成」を行い、これまでの「プランター植付助成」と合わせ、新植の推進を行ってまいります。さらに、農作業委託の過度な増加による作業遅延解決へ、株出し管理作業の受委託調整を行う組織の設立へ向け関係機関と取り組んでいくところです。

肉用牛につきましては、子牛価格が高値で推移し生産牛は順調に増頭がなされてきております。さらに国の増頭奨励金が新設されますので、これまで行ってきた自家保留導入奨励事業と併せて計画的な更新、規模拡大が図られていくものだと期待しているところです。畜産クラスター事業による基盤整備で省力化と規模拡大を推進し、生産性と収益性の向上に取り組んでまいります。

令和2年度は、分娩事故や分娩間隔日数改善の課題解決へ向け、監視カメラ導入助成に加え、新たに個体管理システム導入助成などのICT機器活用支援や、防疫対策として消石灰の配布を行い、畜産環境改善に取り組んでまいります。

す。

また、へい獣処理施設について関係機関と検討してまいります。

園芸作物につきましては、特にバレイシヨがこれまでの価格低迷から作付面積がやや減少傾向にあるものの、春一番は「かごしまブランド産地」として信頼される産地づくりが確立してきたと考えております。令和2年度は、さらなる消費喚起としてトップセールスに力を入れ、安定した生産振興に努めてまいります。

近年栽培面積が増えてきている実エンドウにつきましては、栽培資材助成を行い産地づくりに努めてまいります。

マンゴーにつきましては、新たに非破壊糖度計の導入助成を行うなど、消費者に信頼される品質の高さを保ちつつ、安定した出荷に努めてまいります。

担い手の確保につきましては、農業センターでの研修を通じて地域を担う人材を育成し、新規就農者の確保にも取り組んでまいります。人・農地プランによりその地域の担い手の確保に努めてまいります。

ます。

なお、令和2年度より農地中間管理事業は農業委員会に窓口が一括化され、より農地利用の円滑化が図られるものと期待しております。

食育・地産地消につきましては、農業センターでの農業塾や技術セミナーを活かした野菜や花づくりの実践と、苗ものの市の開催で活発な家庭菜園の普及を図り、自給野菜の確保と学校給食での利用を推進してまいります。また、農地・菜園を持たない家庭を対象に、農業の魅力を体験してもらうため、引き続き農業センター内に市民農園を設置いたします。

懸案となっておりまます直売所につきましましては、「地域おこし協力隊」を募集し、町内生産者と連携した農林水産物や加工品の新規開発、掘り起こし等に努め、その実現を目指します。

鳥獣被害対策につきましては、イノシシの被害による農作物被害が深刻な状況にあります。そのため、引き続き猟友会による捕獲対

策と、防護柵・電気柵・アニマルネット等の助成を実施し、被害防止の強化に努めてまいります。

「山猪工房あまぎ」の運営につきましては、島内外における流通販売の確立とジビエ料理の普及に取り組んでまいります。

林業につきましては、島内産材の普及と利用促進に努めてまいります。

松くい虫が沈静化し伐倒駆除は一旦休止となりますが、引き続き枯損木の伐倒、樹幹注入を実施し、森林保護に努めてまいります。特用林産物の生産については、「シイタケ類栽培」の技術セミナーを開催するなど、普及に向けて取り組んでまいります。

懸案でありました天城町農業振興地域整備計画につきましては、令和2年度より2年間で見直しを行ってまいります。

水産業につきましては、水産振興及び産業発展の活性化につなげるため、鹿児島大学水産学部との地域包括連携協定の締結に努めて

まいります。また、天城町先端水産業実証事業で整備した施設での陸上養殖及び畜養・水産研究の実証を地域おこし協力隊を支援しながら、水産振興に積極的に取り組んでまいります。

国の広域漁場整備事業による大型魚礁はムシロ瀬沖に設置されます。また離島漁業再生支援交付金事業の活用による浮魚礁設置で、漁業者の就労意欲を高めるとともに水産業の活性化を図ります。町単独事業の水産業活性化推進事業につきましては、3年を経過して漁業従事者へ浸透され制度活用がなされています。今後は、補助実績など検証を行いながら、内容の充実を図りさらなる漁業従事者の就労意欲の向上や後継者育成にも努めてまいります。

また、「うるおいと活気に満ちた漁港・漁村づくり」のために、松原漁港水産物供給基盤機能保全計画に基づき年次的に整備を進めてまいります。

農地基盤整備につきましては、令和元年度現在で、整備率は84.5パーセントとなっております。

9地区で県営畑地帯総合整備事業が進められておりますが、令和2年度は畑かん32.5ヘクタール、区画整理10ヘクタール、土層改良2ヘクタールの事業を実施してまいります。

なお、徳之島ダム受益地の散水可能予定面積は、令和2年3月末時点で297.24ヘクタール、進捗率は23.3%となる見込みです。

また、県営畑地帯総合整備事業の清算事務未処理地区につきましては、現在3地区が完了し、引き続き未処理地区の解消に取り組んでまいります。

農業基盤整備促進事業（中部地区）につきましては、令和元年度には兼久地区農道240メートルを改良いたしました。令和2年度からの3年計画で浅間及び兼久地区の各一部農道920メートル、水路140メートルを整備いたします。

南部ダム畑かん施設（第二天城南部）では、経年劣化により施設の機能低下が生じていることから、

ストックマネジメント事業を導入し、順次パイプラインの付帯施設（弁類）の更新を行ってまいります。

多面的支払交付金事業につきましては、令和2年度も引き続き、農地、農道、水路、沈砂池等の維持管理活動を実施してまいります。

地籍調査事業につきましては、29.3パーセントの進捗率となっております。令和2年度は、岡前・瀬滝の各一部30ヘクタールと併せて、新規に西阿木名・与名間の各一部42ヘクタールを進めてまいります。

（2）新たな事業創出と観光産業の振興

平土野港は、空港から市街地へのアクセスルート上に位置し、離島航路のターミナルであり、地域経済を支える流通基地として大きな役割を果たしております。徳之島の物流拠点・大型クルーズ船の寄港地等、統合的な機能を備えた多機能港湾として整備を目指してまいります。策定中の「平土野港

多機能港湾基本構想」を基に、平土野港だけでなく周辺地域の整備にも取り組んでまいります。

商工業につきましては、商店街の活性化を促すために、わっきゃが広場や空き店舗を活用した様々な取り組みを商工会と連携して支援してまいります。地元消費拡大対策として引き続きプレミアム商品券補助事業費300万円を継続し、消費購買の町外流出防止や地元消費の拡大を図ります。また、キャッシュレス推進に向けて取り組んでまいります。

観光業につきましては、世界自然遺産登録を見据えた人と自然が共生する癒しの観光地づくりを継続して進め、多様化する観光ニーズに対応した奄美群島周遊型観光を推進し、観光PRや情報発信を積極的に行います。

徳之島の伝統文化であり、大切な観光資源の闘牛大会を通じて日本一の闘牛の島を発信してまいります。若い人たちから要望の多かったドーム闘牛場につきましては、「全天候型多目的施設基本計画」に基づき、その実現に努めてまい

ります。

また、冒頭でも申し上げましたとおり、第33回トライアスロンIN徳之島大会を7月5日に開催し、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」トリアスロン競技を10月4日に開催いたします。関係機関と連携を密にし本大会を成功させて、天城町を全国にPRいたします。

奄美群島成長戦略推進交付金「特定重点配分対象事業」として採択されている「合宿日本一の島」推進事業」を活用し、官民一体となって合宿の誘致活動に取り組み、交流人口の拡大に繋げたいと考えております。

空港利用促進といたしましては、徳之島・鹿児島線の再ジェット化及び奄美群島アイランドホッピングルート開設のほか、徳之島・奄美線の午前便が再開され、より航空路の利便性が向上いたしました。

また、年末年始に大阪（伊丹）と徳之島を往復する臨時便の就航があり、2路線4便の利用率が9

割を超え、両地域の交流人口拡大に繋がりました。今年8月の夏休み期間にも大阪（伊丹）から徳之島の直行便の就航が決定しております。これにより、交流人口の拡大と観光振興及び経済発展の拡大に繋がると期待しております。今後も、引き続き国・県・航空会社等への定期的な直行便就航の要請活動を行ってまいります。

2 新しい人の流れをつくる

(1) ふるさと創生室

新たに設置いたしましたふるさと創生室において、ふるさと納税及び移住・定住促進と空き家対策の強化を図ります。

ふるさと納税につきましては、新たな寄附者を増やすため、関東・関西の大都市圏においてPR活動を実施いたします。またリピーターを増やす取組として、フェイスブックやツイッターを活用し、より寄附者に寄り添ったサービスを展開してまいります。

移住・定住の促進につきまして

は、移住相談に特化したワンストップ窓口と移住情報発信専用のホームページ開設、パンフレット作成により、多様な移住ニーズを把握しながら、移住希望者に寄り添った適切な対応をできるよう努めてまいります。お試し移住体験事業やUターン者に向けた住宅改修の補助を行うことで、移住を確かなものにするために、新婚世帯に向けた生活応援支援事業を行い、若者世代の定住促進に取り組んでまいります。

また、空き家バンクにつきましては、制度の周知に力を入れることで空き家の登録件数を増やし、町のホームページなどで広く空き家情報を提供いたします。空き家の改修及び修繕に対しても引き続き支援してまいります。

(2) 世界自然遺産登録に向けて

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録につきまして、冒頭でも述べたとおり、今年夏頃に中国にて開催される世界遺産委員会において登録の可否が決定されます。登録が

実現された際には、世界自然遺産登録記念イベントを関係機関とともに開催いたします。

世界自然遺産登録は、ゴールではなくスタートとして捉え、希少野生動植物の保護や外来種対策などの遺産価値の保全や、小・中学生を対象とした世界自然遺産学習「あまぎ学」を通して世界に誇れる文化・自然の継承に積極的に取り組むとともに、登録を契機とした天城町の魅力発信や地域振興に努めてまいります。

③ 健康・妊娠・出産・子育て・教育の希望を叶える

(一) 子どもから高齢者までみんなが健康の町

保健予防事業につきましては、引き続き乳幼児健診、特定健診、長寿健診、がん検診などの各種検診の受診率向上に努め、早期の育児支援や保健指導、疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化にさらに取り組んでまいります。

また、保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を新設

し、よりきめ細かい子育て支援を展開してまいります。

国民健康保険事業につきまして、誰もが安心して医療が受けられるよう、その安定的な運営を進めてまいります。

また、年々高騰し続けている医療費の抑制を図るため、ニーズに沿った運動の提案を実施するとともにレセプト点検等の医療費適正化対策を推進してまいります。

児童福祉につきましては、児童手当・児童扶養手当・ひとり親家庭医療費助成・乳幼児医療費助成制度等についてさらに取り組んでまいります。

国が幼児教育・保育の無償化を開始したところですが、少子化対策や子育て支援について、国の制度では補えない部分やまだまだ不足している部分もあります。本町といたしましては、児童養育費助成事業による保育料の実質無料化や出産祝い金支給事業を継続するとともに、義務教育就学児医療費助成事業の対象を中学生から高校生までに拡充し、子育て世代への経済的支援の充実を図ります。

また、「子育て支援拠点事業」を

継続するとともに保育所を利用せず在宅で子育てをしている世帯の負担軽減を図り、子育てしやすい環境の整備に努めてまいります。

保育所につきましては、新しく「幼児英語教室」を始めます。また、引き続き設備や遊具等の整備を進めるとともに、保育士等の研修の実施により質の高い保育環境を実現し、安心してお子さんを預けていただけるよう努めてまいります。

障がい者福祉につきましては、地域生活支援事業を活用した日常生活支援用具の給付、そして自立支援給付として車椅子・補聴器など補装具の支給等を行い、障がいを抱えた方やその家族が安心して暮らせるように支援してまいります。

また、介護給付や訓練等給付の利用につきましても引き続き支援してまいります。

高齢者福祉につきましては、敬老祝い金支給事業をはじめ、緊急時の通報装置の貸与・設置、敬老バス無料乗車券交付など、高齢者に寄り添った事業を展開するほか、

老人クラブへの助成も引き続き行い、支援してまいります。

自殺予防につきましては、地域自殺対策強化事業を活用した「こころの電話相談」や、臨床心理士による個別相談会並びにこころの健康に関する講演会を実施してまいります。

また、島内での治療が困難な疾病に関して旅費の助成を実施すると共に、臓器移植に関する旅費助成を行うために回数制限の緩和を行います。

介護保険事業につきましては、自立支援・介護予防・重度化防止に取り組むとともに、介護給付適正化事業に取り組む、介護保険制度の安定と持続可能な運営を推進してまいります。

地域支援事業につきましては、高齢者が安心して自分の家で暮らし続けることの出来る社会の構築を目指してまいります。そのため、高齢者の状況を把握し、医療・介護・予防・住まい・地域の見守りや生活支援等の自助・互助・共助・公助を組み合わせた、高齢者一人

ひとりの生活を支える仕組みづくり、地域包括ケアシステムの構築と充実を図ってまいります。

デマンドバスにつきましては、新たに南部路線が開設されました。今後も交通の利便性確保に努めてまいります。

(2) 将来の天城町を託せる人材の教育

教育文化の町づくりにつきましては、教育大綱と天城町教育振興基本計画により、「ユイの心をもち、世界雄飛と鳥担うひとづくり」を基本目標として、将来の天城町を託せる人材の教育を推進してまいります。

学校教育につきましては、新たに「われんきゃグローバルプロジェクト」として、町単独事業で英検・漢検等各種検定を実施いたします。また、中学生を対象としたホームステイを通じ、語学研修を行う海外派遣事業を再開実施してまいります。

英語教育につきましては、ALTを増員し、児童・生徒の英語力

の向上に努めてまいります。

小・中学校の総合的学習時間で、天城町の人・文化・歴史、そして自然環境等の世界的な価値について学ぶ「あまぎ学」を令和2年度も行います。学校の新学習指導要領におきましては、言語能力、問題発見や解決能力と同様に情報活用能力が重要視されております。そのため小学校においてもプログラミング教育が必修化されますので「GIGAスクール構想」の実現に向けICTを活用した学習活動を行うためタブレットの導入を進めてまいります。教職員の働き方改革の推進につきましては、校務事務処理のシステム等の導入を図ってまいります。また、学力向上に向けた教員の資質向上や、充実した教育活動の推進といたしましては、土曜授業の実施や授業づくりの指針となる「天城町授業づくりの目」を活用してまいります。

特別支援教育につきましては、引き続き学校間の交流を深めてまいります。また、思春期における悩み等に対応する心の教育相談員

やスクールソーシャルワーカーを配置して、一人ひとりに寄り添った支援を継続してまいります。

高等学校、短期大学、専門学校、大学等への入学希望者を対象に、「天城町育英奨学資金」や、「夢と希望の上原勇一郎奨学資金」を継続して貸与してまいります。

健康で心豊かな子どもの育成のため、体験活動や芸術とのふれあい教室を実施いたします。児童・生徒数の減少に伴う対策としては、校区の方々と共に、山海留学制度の拡充や特認校制度を活かした地域支援活動を推進してまいります。

学校施設につきましては、令和元年度から2カ年の計画で天城町学校施設長寿命化計画を策定しておりますが、それに基づき校舎・体育館・教員住宅の計画的な補修・建て替えを進めてまいります。

給食センターにつきましては、建築から40年経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいるため、建て替えについて計画してまいります。

また、協議を重ねてまいりました徳之島高校バス通学支援につきましましては、令和2年度より実施することといたします。

社会教育につきましては、教育文化の町推進会議を中心に行政や地域・学校との連携を図ってまいります。また、令和2年度は本町で「第18回大島地区生涯学習推進大会及び第21回大島地区広域文化祭」が開催されますので、町民の生涯学習や文化活動のさらなる発展につながる機会となることを期待しております。

生涯学習講座につきましては、あらゆる年齢層の教育に対する強い関心や多様化する学習意欲に対応するため、内容の充実を図ってまいります。また、令和2年度は「子宝バンド」や「アクセサリー教室」を新規に開設いたします。

教科セミナーにつきましては、児童・生徒の学力向上を図るため、さらに魅力ある授業の工夫に努め、参加者を増やすための広報活動や保護者の理解を深めてまいります。また、引き続き「自主的学び応援事業」を実施してまいります。

す。

図書館につきましては、開館時間をこれまでの午前10時から9時に変更し、利用者の利便性を図ります。引き続き図書資料を充実させ、必要に応じた情報・資料などを提供できるよう体制を整えてまいります。また、移動図書館車の利用者を増やすために利用場所や時間帯を工夫してまいります。町民の身近な図書館にするため、七夕会・図書館まつり・ふれあい読書フェスタを実施し、サービス向上に取り組んでまいります。

さらに、本の読み聞かせ活動を実施し、幼児期から本に親しみ習慣化するような活動を強化してまいります。

社会体育につきましては、令和2年度は本町で第74回県体第61回大島地区大会「グラウンドゴルフ競技」・「剣道競技」、第47回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会「全空連空手道競技」が開催されます。また、生涯スポーツにつきましては、健康づくりソフトボール大会や駅伝競争大会を開催し、町民が健康で笑顔あふれるまちづくりに

努めてまいります。

B&G海洋センターにつきましては、多目的艇庫に新たにクリアボトムカヌー・クリアスタンドアックティビティの充実に努めてまいります。また、艇庫と隣接している町営プールのウォータースライダーの改修が完了しました。艇庫の活動にとどまることなくバンガローや町営プールを活用して、宿泊者を対象とするプログラムを計画してまいります。他団体と共同で取り組むことによりB&G海洋センター全体、そして与名間海浜公園全体の活性化に努めてまいります。

ユイの館につきましては、引き続き文化的資料の収集と整備に努めてまいります。また、企画展やミニ講演会などを開催してまいります。

さらに、世界自然遺産登録などに伴う来場者の増加を見据え施設のリニューアルを行います。2階スタージェャラリー部分を奄美群島では初めてとなる「世界の岩石展示コーナー」に、1階サンゴ模型

倉庫は「闘牛DVD放映」・「ウンブキDVD放映」コーナーに改修します。

文化財事業につきましては、「国宝重要文化財等保存整備事業」を活用して下原洞穴遺跡の国指定を目指すとともに、引き続き水中遺跡の分布調査を行ってまいります。また、ウンブキにつきましては、ダイバーや関係機関と連携して、その実態解明に向けて協力するとともに適切な保護措置を図ってまいります。

4 時代に合った地域をつくり、町民の安心した暮らしをまもる

(1) 町民が安心して暮らせる環境の確保

道路事業につきましては、前野・岡前横断線及び平和東線を社会資本整備総合交付金事業で整備を進めてまいります。

橋梁補修事業につきましては、橋梁長寿命化計画（令和元年更新）に沿って実施し、舗装修繕事業につきましては天城中央線歩道、そして路面性状調査に基づき瀬滝三

京線ほかを実施してまいります。

また、町単独事業として、西阿木名長畑線の舗装工事を行ってまいります。県管理道路につきましても継続して実施してまいります。

公営住宅建設事業につきましては、西阿木名地区に1棟4戸を新築し、町単独事業として木造住宅1棟2戸を建築いたします。

公園整備事業につきましては、総合運動公園の老朽化した遊具施設を中心に継続して改修を行います。

生活環境・公衆衛生につきましては、生活排水対策として合併処理浄化槽設置整備事業を推進しております。令和2年度からは新たに単独浄化槽から合併浄化槽への転換については、宅内配管工事に対し30万円を限度額とした補助、また汲み取り槽から合併浄化槽への転換については、町単独補助の1基当たりを10万円から20万円に増額いたします。

廃棄物対策として生ごみ処理機購入費助成事業により、ごみの減

量化・資源化を推進してまいります。また、不法投棄防止パトロールや海岸漂着物の回収を行い、景観及び自然環境の保全に努めてまいります。

徳之島愛ランドクリーンセンター新設につきましては、現在、徳之島愛ランドクリーンセンター施設整備基本構想策定検討委員会において協議を行っているところであります。町民の皆様には大変ご心配をおかけしておりますが、検討委員会の取りまとめの推移をみながらご報告させていただきます。

消費者行政につきましては、特殊詐欺事案などが増加傾向にある中、依然として高齢者や若年者が消費者トラブルの被害者となっておりまます。このことから、専門相談員を継続的に確保し、地域や関係者の皆様と連携を図りながら、更なる消費者啓発及び教育の強化に取り組んでまいります。

これまで簡易水道事業として運営してきた本町水道は、令和2年4月1日から上水道事業に移行し

ます。

地方公営企業法が適用されるため、従来の官公庁会計から公営企業会計に移行することとなります。今後とも安心・安全な水の供給に努めてまいりますので、水道事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

地域防災につきましては、減少傾向にある消防団員の加入促進に努め、町内3分団が一樣に活動できるように若手の人材の確保に努めてまいります。さらに団員に対しての研修会や教育訓練等を計画し、さらなる組織力の強化に努めてまいります。

そして自主防災組織や町民を対象にした防災講話や研修等を実施し、防災組織の強化及び防災・減災に向けた意識向上にも努めてまいります。

さらに、土砂災害警戒区域等の追加指定に伴い、天城町防災マップ、土砂災害のハザードマップを更新し全戸配布いたします。

交通安全・防犯対策等については、徳之島警察署と連携を図り、交通に関するルールやマナーの意識向上、職員・町民に向けた交通

法令講習会等を計画してまいります。また防犯に対する啓発活動を強化し、安心安全なまちづくりに努めます。

(2) 行財政改革の推進

本町の財政事情は、地方交付税などの依存財源が大きなウェイトを占めており、自主財源の確保については一層強化を図っていく必要があります。現在、第2次天城町行政改革大綱及び第2次天城町集中改革プランに基づき、歳入確保や事務事業の見直しなど歳出抑制の検証を行っているところです。

冒頭にも申し上げましたが、少子高齢化、情報化社会など社会情勢の変化や地方分権の進行等に対応し、新たな行政課題と町民の多様なニーズに即応できる行政サービスを展開するため、第1次組織・機構の再編を行いました。さらに事業課を中心に再編を行ってまいります。

町民生活課と税務課の統合に伴い戸籍や住民票・各種税務関係書類が同一窓口で対応可能になり町

民の皆様の利便性向上に繋がるものと期待しております。

税につきましては、多くの町民の皆様には納税に対するご理解・ご協力をいただいております。そのような中で納税者の利便性確保の方策としては、口座振替の推進とともに、毎月1回休日納付窓口の開設のほか、コンビニ収納やスマホ決済システムPayB（ペイビー）等を実施しております。

一方、納税に対する理解が得られない一部の滞納者に対しては、法に基づき預貯金や生命保険・給与等の調査及び財産差押えなどを行い、公売会を開催してまいります。税負担の公平性を確保するために、滞納処分の実施については、ご理解ご協力をお願いいたします。

様々な事業・取り組みを展開して参ります。そのなかでも特色ある施策の一部をご紹介します。天城4月1日より一部の課名の変更や課の分掌事務が移管されておりますのでご注意ください。詳しくは(代表番号：85-3111)

化事業など

○さとうきび：メリクローン苗助成、機械導入助成、早期植付助成、薬剤助成など

○肉用牛：個体管理システム導入助成、分娩事故軽減カメラ導入助成、自家保留導入助成、敷料など

○園芸：非破壊糖度計導入助成、実えんどう栽培資材導入助成、簡易ハウス導入、管理機械導入助成、輸送コスト支援事業など

○経営ソフト助成、農業センター（研修制度、農業塾、技術セミナー）、鳥獣被害対策（防護柵、電気柵、アニマルネット）など

農地整備課

<水利施設整備事業（基幹水利施設保全型）事業>

2,568千円(当初予算)

南部ダム畑かん施設（第二天城南地区）は経年劣化により施設の機能低下が生じていることからストックマネジメント事業によりパイプラインの付帯施設（弁類）の更新を行う。

<農業基盤整備促進事業 中部地区>

23,300千円(当初予算)

町の農業振興基本方針に基づく農業用施設等の生産基盤の整備を実施し、担い手の確保・育成による地域営農体制の確立を図ることを目的に、兼久地区において農道の一部と水路の整備を行う。

商工水産観光課

<マイナポイント事業> 2,322千円(当初予算)

消費税引き上げに伴う需要平準化策として、マイナンバーカードを取得し、マイキーIDを設定の上、一定額を前払い等した方に対して国が「マイナポイント」を付与する事業です。

<水産業活性化推進事業> 2,000千円(当初予算)

漁業生産の向上を推進するために漁業従事者が漁具及び漁業資材の導入や水産加工施設等の設置、又は、出漁時の燃料費等の経費負担を軽減するため、予算の範囲内で補助を行い、水産業の活性化を図る。

<大和城観光地連携整備事業（H29～）>

46,000千円(当初予算)

大和城周辺一帯を総合的に整備するとともに、自然環境の保全保護を併せて行い、点在する観光・歴史・文化資源を結び、世界自然遺産の魅力を感じられる空間づくりを行う。（バンガロー設置 2戸1棟・防護柵・浄化槽）

<第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」トライアスロン競技本大会>

82,120千円(当初予算)

第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」トライアスロン競技を10月4日に開催いたします。昨年のリハーサル大会を踏まえ、関係機関と連携を密にし本大会を成功させ、天城町を全国にPRいたします。

農業委員会

<農地中間管理事業> 6,021千円(当初予算)

安心できる農地の貸し借りを鹿児島県地域振興公社（鹿児島県農地中間管理機構）がサポートをする事業です。貸し手と借り手の両方に様々なメリットがある事業です。ご興味のある方はぜひご活用・ご相談ください。（令和2年度より天城町の事業窓口が農業委員会になります。地区の農業委員も相談の窓口となります）

○実施地区：松原地区（一部）、その他地区

教育委員会総務課

<将来の天城町を託せる人材の教育> 2,270千円(当初予算)

「ユイの心もち、世界雄飛と島担うひとづくり」を基本目標として、英検・漢検等各種検定を実施いたします。また、中学生を対象としたホームステイを通じ、語学研修を行う海外派遣事業を再開実施してまいります。

<学力向上> 7,407千円(当初予算)

「GIGAスクール構想」の実現に向けICTを活用した学習活動を行うためタブレットの導入等を年次的に進め、学力向上に向けた教員の資質向上や、充実した教育活動の推進を図り、土曜授業の実施や授業づくりの指針となる「天城町授業づくりの目」を活用してまいります。また、英語教育は、ALTを増員し、児童・生徒の英語力の向上に努めます。

<学校と地域支援> 5,950千円(当初予算)

健康で心豊かな子どもの育成のため、体験活動や芸術とのふれあい教室を実施いたします。児童・生徒数の減少に伴う対策としては、校区の方々と共に、山海留学制度の拡充や特認校制度を活かした地域支援活動を推進してまいります。

社会教育課

<「第18回大島地区生涯学習推進大会・第21回大島地区広域文化祭」天城町大会>

3,000千円(当初予算)

地区内の関係者が一堂に会し、永年にわたって生涯学習に功績のある団体及び個人を表彰するとともに、各市町村の取組や具体的な活動発表及び講演等を通して、これまでの学習の成果と今後の生涯学習の在り方を展望し、潤いと活力に満ちたふるさとづくりに寄与する。

<結シアター手舞青少年育成文化芸術振興補助金>

1,500千円(当初予算)

- ・次世代を担う「若者」が島に留まり活気と向上心を育み、島を愛し思う気持ちを堅持することにつなげる。
- ・島の魅力を発信・PRし交流人口につなげる。
- ・地域イベントに積極的に参加し、地域を盛り上げ活性化を図る。
- ・家庭・地域・学校と連携・協働した取組を図り持続可能な活動、町づくりに努める。

<自主的学び応援事業助成金> 590千円(当初予算)

「世界雄飛と島担う人づくり」を具現化するため、教科セミナーの強化・充実・発展により、個々の様々な能力開発・学力向上を支援し、次代を担う青少年リーダーの健全育成を図る。

<第74回県体第61回大島地区大会「グラウンドゴルフ競技」・「剣道競技」> 200千円(当初予算)

<第47回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会「全空連空手道競技」>

<B&G海洋センター艇庫ソフト事業> 762千円(当初予算)

クリアボトムカヌー・クリアスタンドアップパドルボードを導入して水上アクティビティの充実、青少年の健全育成を図る。

<ユイの館施設内リニューアル> 2,610千円(当初予算)

世界自然遺産登録などに伴う来場者の増加を見据え施設のリニューアルを行い、全ての人々に学習機会の拡充を図る。2階スターギャラリー部分を奄美群島では初めてとなる「世界の岩石展示コーナー」に、1階サンゴ模型倉庫は「闘牛DVD放映」・「ウンブキDVD放映」コーナーに改修する。

令和2年度 特色ある施策

町では今年度も各課・局で町組織・機構の再編により各課へお問合せください。

総務課

<天城町公共施設等総合管理計画作成支援業務委託>

6,950千円(当初予算)

公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の施策を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図り、よりよい行政サービスを提供することを目的に公共施設等の個別管理計画を策定するものです。

<天城町国土強靱化地域計画策定業務委託>

6,050千円(当初予算)

町民の生命と財産を守り、地域経済活動を安全に営み、経済成長に資することを目的に地域の強靱化を総合的かつ計画的に推進するため、天城町国土強靱化地域計画を策定するものです。

企画財政課(旧企画課)

<平土野港多機能港湾新設の実現に向けた取組>

平土野港を物流や産業の拠点、クルーズ船寄港地としての機能を備えた多機能港湾として整備するため、国・県への要請活動を実施致します。また、空港から平土野地域にかけての景観形成や、賑わいを取り戻す施策を展開していきます。

<地方創生に関する取組>

「第2次天城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少の抑制や雇用の創出に繋がる施策に全庁をあげて積極的に展開します。

<平土野地域活性化基金活用事業>

新たなチャレンジへの支援など事業者のやる気を育てることなどを目的として、平土野商店街に、新たに飲食店を開業する際の準備資金として補助します。

○補助金額:対象経費の2分の1以内とし、50万円を限度(上限50万円×2件)

<世界自然遺産登録に向けた取組>

希少野生動植物の保護対策などに継続的に取組むとともに、世界自然遺産登録が決定になった際には、登録記念イベント等に関係機関とともに開催いたします。

<移住定住に関する取組>

本町の人口減少に歯止めをかけるとともに定住人口の増加を促進するため、移住定住に関する支援等の充実を図り、地域活動の活発化や地域経済の活性化に取り組みます。

○お試し移住体験事業(移住促進)

- ・ 助成金額:宿泊施設利用料及び車両賃借料を合計した金額の30%以内、1日当たり3,000円を上限
- ・ 対象者:本町へ移住を希望する者及びその家族、山海留学の体験入学を希望する者及びその家族

○お帰りなさい住宅改修補助事業(Uターン促進)

- ・ 補助金額:対象経費の2分の1以内とし、100万円を上限
- ・ 対象者:Uターンにより転入する20歳以上の者で実家等を改修し、継続して10年以上定住する意思のある者

○新婚さん応援生活補助金(若者の定住促進)

- ・ 補助金額:対象経費の2分の1以内とし、15万円を上限
- ・ 対象者:夫婦ともに45歳以下で、本町に5年以上の定住の意思がある世帯

○町内起業支援対策事業(Uターン者の定住促進)

- ・ 補助金額:対象経費の2分の1以内とし、50万円を上限
- ・ 対象者:町内で新たに起業するUターン者

くらしと税務課(旧税務課・町民生活課)

<納税に関して>

納税者の皆様の利便性確保の方策として、口座振替の推進とともに毎月1回休日納付窓口の開設のほか、コンビニ収納やスマホ決済システムPay B(ペイビー)等実施しております。多くの町民の皆様に、納税へのご理解・ご協力を頂いているところですが、納税に対する理解が得られない一部の滞納者に対しましては、法律に基づき預貯金や生命保険・給与等の調査及び差押え等を行い公売会を実施しております。ご理解ご協力をお願いします。

<合併処理浄化槽設置事業補助>

39,140千円(当初予算)

生活環境保全及び汚水処理普及率の向上を図るため、合併処理浄化槽を設置する者に対し補助金を交付します。

補助金額(5人槽の場合)

- ・ 単独浄化槽から合併浄化槽への変更 722,000円(限度額)
- ・ 汲み取り槽から合併浄化槽への変更 532,000円
- ・ 新築の場合 166,000円 ※補助金額は改正する場合があります。

<家庭用生ごみ処理機購入費助成>

1,500千円(当初予算)

生ごみの減量化・資源化を推進するため、家庭用生ごみ処理機購入費の一部を助成します。

- ・ 町内居住者(1世帯につき1台):購入費の70%(限度額50,000円)

<高齢者ごみ出し用手押し車購入費助成>

196千円(当初予算)

高齢者のごみ出しの軽減を図るため、ゴミ出し用手押し車購入費の一部を助成します。

- ・ 75歳以上の独居又は老人世帯:購入費の70%(限度額9,800円)

長寿子育て課(旧保健福祉課福祉分野)

<就学児医療費助成事業>

就学児(小学1年~高校3年)へ医療費自己負担分の全額助成を致します。

<出産祝金>

少子化対策の一環として出産祝金を支給

第1子:5万円 第2子:10万円 第3子:20万円 第4子:30万円 第5子:40万円 第6子以降:50万円(限度額50万円)

<島内治療困難者旅費助成金>

島内での治療が困難な疫病に関して旅費の助成を致します。

農政課

●農地や家庭菜園を持たないご家庭を対象に、農業センター内の市民農園10区画(1区画21㎡(3m×7m))を貸し出します。利用料は年間3,000円(1区画)で、簡易な農具は貸し出し可能です。ぜひご家族で農業体験の場としてご利用ください。(4月より申込開始、4月から令和3年3月末まで貸し出し)

●手植えによる植え付けを行うさとうきび農家を対象に、令和2年夏植えより、「手植え助成」を行います。助成額は10㎡当たり2千円で植え付け前の申請が必要です。低単収ほ場や多回株出しほ場は積極的に植え替えを行い、単収アップを目指しましょう。(当初予算額3,000千円)

<その他事業(抜粋)> ※継続事業含む

○土づくり:堆肥助成、改良資材助成、深耕、緑肥、農地再活性



令和元年度ホストタウン事業

～2月8日から11日にかけて、令和元年度天城町ホストタウン交流事業が開催されました～



セントクリストファー・ネービス大使との交流

令和2年2月9日～11日実施

天城町のホストタウン相手国であるセントクリストファー・ネービスのジャスミン・ハギンス大使をお招きし、交流会や町内陸上競技施設視察、学校訪問などの交流事業を実施しました。

ホストタウン相手国大使×日本人オリンピック×天城町 合同交流会

合同交流会では、ハギンス大使によるセントクリストファー・ネービスの紹介プレゼンテーションが行われました。また、山羊汁や豚軟骨の塩煮などの伝統料理を楽しみながら、結シアター手舞や三線の演奏などの伝統芸能を鑑賞し、交流を深めました。



懇話会、陸上競技施設の視察

オリパラ東京2020大会後、相手国の選手等を招聘し行う交流事業について話し合いが持たれた懇話会では、円滑に事業が実施できるよう町と相手国とで双方に連携していくことを確認しました。また、天城町総合運動公園内の陸上競技場を視察した際に、ハギンス大使は「とても環境の整っている陸上競技場で、母国の選手達も喜ぶでしょう。来年度、この陸上競技場で素晴らしい交流が持たれることを期待します。」と話し、来年度へ向けての期待が膨らみました。





交流授業

樟南第二高等学校普通科2・3年生徒との交流授業では、英語のみを使用した授業を展開し、お互いの文化等について理解を深めました。交流授業後、ハギンス大使は「生徒の皆さんと英語を使って大変有意義な交流ができた。高校生の交換留学などで今後も交流が続けられるように、これからも関係を深めていきたい。」と述べられました。



今回の交流事業に際しハギンス大使からは、「温かなおもてなしをしてもらい、感謝したい。天城町は母国と似ているところが多く、これからの交流を楽しみにしている。大会後も継続した交流が続けられるように関係を深めていきたい。」と語られました。

天城町出身オリンピック西見健吉氏との交流

令和2年2月8日～11日実施

1996年アトランタ五輪レスリング男子グレコローマン57kg級第8位入賞の西見健吉氏と、2019年全日本学生選手権男子フリースタイル74kg級優勝の成國大志氏を講師としてお招きし、レスリング体験教室や講演会を実施しました。

「Let's みんなでレスリング体験教室」



島内の小中学生を対象に行われたレスリング体験教室では、レスリングの基本ルールや基礎的な動き、実践に向けてのレクチャーなどがなされました。

2024年パリ五輪への出場を目指している成國氏は、「世界のトップを目指すには、泣きながらでも練習をしなければならない。努力をすることは並大抵のことではないがレスリングが好きだからこそ続けられる。レスリングの楽しさを感じながら、自分に厳しく頑張っていてほしい。」と参加した子供達にエールを送りました。



講演会「自分の人生に誇りを持つこと～夢を叶えるために～」

天城中学校（西阿木名中と合同）及び北中学校で行われた講演会では、西見氏のオリンピック出場を目指す過程や大会出場の経験から得た人生観などを熱く語られました。「夢は必ずしも叶うわけではない。だからこそ、自分で決めた夢を叶えるために努力を積み重ねることが大切だ。努力することは決して無駄にはならない。自分の人生は自分自身で切り開いてほしい。」と語り、参加した生徒達は西見氏の言葉に熱心に聞き入っていました。



西見氏は今回の交流事業に際し、「天城町からオリンピックを輩出するのが今の大きな夢。レスリングや他のスポーツの指導が、遠隔地からでも可能なシステムの活用を考えている。様々な形で天城町の子供達の育成をバックアップしていきたい。」と語られました。

－ B&G全国サミット －

1月21日(火)、B&G海洋センターが所在する全国373自治体が一同に集まる第12回B&G全国サミット(主催B&G財団)が東京都港区の笹川記念会館で開催されました。「地域力を活かしたまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションに、全国のB&G海洋センター所在自治体のなかから、長野県白馬村下川村長、福井県大野市石山市長とともに天城町の森田町長も登壇し、各地域の取組発表や意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子

森田町長からは、2017年度に実施した海洋センター艇庫リニューアルの成果として、「海塾」や「B&G フェスタ」などの取組み紹介や、カフェスペースでのママさんの集いなどにより家族連れの利用が増加していることや、高齢者の砂浜ウォーキングの開催などに触れ、B&G海洋センターが赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代に利用されていることが報告されました。

また、B&G海洋センターの魅力発信などを目的とした“2019 B&G PR大賞”の発表も行われ、「おいでよ！海洋センターの部」において参加81点のなかから、天城町B&G海洋センターとAYTが連携し作成したPR動画が優秀賞(10作品)を見事受賞しました。さらに、2018年度優良海洋センター表彰において天城町B&G海洋センターが8年連続となる特A評価を受けるなど、天城町のB&G海洋センターを活かした取組みが全国から注目を集めるサミットとなりました。



発表をする森田町長



PR大賞受賞伝達式

－ ユイの心を育む 生涯学習閉講式 －



2月16日(日)、天城町防災センターにて令和元年度生涯学習閉講式が行われました。令和元年度は生涯学習講座19講座に276名、自治公民館講座に20名、自主活動グループ12講座に203名、中央女性学級・高齢者学級に102名のほか、小学5～中学3年生を対象とした教科セミナーに45名が受講。それぞれの講座の代表者によるあいさつのほか、講座で学んだ成果を披露する舞台発表や作品展示なども行われ、賑わいをみせていました。

— 「おぼらだれん」言葉の贈り物コンクール —



1月25日(土)、兼久小学校にて「おぼらだれん」言葉の贈り物コンクール(南部地区推進協議会主催)が開催されました。兼久小学校や天城中学校の児童・生徒が日ごろ心に思う「おぼらだれん」の感謝の気持ちを作文にし、103名の作品のなかから入賞した12名が作文発表を行いました。発表後、天城中学校副田校長先生より「コンクールを実施することにより、子どもたちの文章力が向上するとともに、いろいろな人に支えられている

ことをわかりはじめています。思ったことをいろいろな形で伝えられる人になってほしい」と講評が述べられました。

— 立正大学経済学部の学生による天城町フィールドワーク —

令和元年10月4日から7日にかけて立正大学(東京都)経済学部櫻井ゼミの一行が本町を拠点にフィールドワークを実施しました。櫻井一宏准教授、江戸川大学鈴木輝隆教授ほかゼミ生9名が来島し、平土野集落のまち歩きなどを行いました。櫻井ゼミの皆様より報告レポートをいただきましたので一部ご紹介いたします。



「平土野集落まち歩き及び地域課題聞き取りレポート(抜粋)」

まち歩きでまず目についたのは、平土野アートプロジェクトで描かれた壁画である。道行く人々がつい写真を撮りたくなるようなカラフルで可愛い壁画は、平土野集落の観光スポットになっているのではないかと感じた。

平土野児童館で行った地域課題の聞き取りでは、商店街の衰退について話がなされ、かつての商店街は賑やかで活気があったそうだ。若者不足も大きな課題となっている天城町は、高校を卒業と同時に約9割が島外へ進学・就職をし、その後Uターンする者は少ないとのこと。

旧農政局跡地で行われたお魚祭りでは、アサヒガニ汁の無料振舞いや海産物の販売があり、会場は老若男女問わず多くの人々で賑わっていた。天城町の特徴を活かしたイベントの開催や人が集まる場所を作ることによって、町全体の活性化や交流増加に繋げることができ、「観光地としての天城町」を広めるきっかけにもなるだろう。立正大学経済学部2年 山本菜緒



— 国産お茶フェス・県フラワーコンテスト受賞 —

2月10日(月)、役場町長室にて、農業分野で新たな挑戦をし見事な功績をあげられた、豊村友樹さん・須川俊和さんの受賞伝達式が行われました。

豊村友樹さん(株式会社徳之島製茶)は、1月17日・18日に東京ミッドタウン日比谷で開催された第5回国産お茶フェス2020in東京(国産お茶フェス実行員会主催)に出品し、参加26茶園100点以上の出品のなかから見事、紅茶部門グランプリ(サンルージュ紅茶)に輝きました。

須川俊和さん(徳之島トルコギキョウ組合)は、1月30日に県民交流センターで行われた令和元年度鹿児島県フラワーコンテスト(鹿児島県花き振興会主催)にて272点の出品のなかから金賞・特別賞に輝きました。

お二人には、賞状やメダルが授与され、森田町長より「若い農家の方々が何か一生懸命挑戦することが大変素晴らしい」と称賛を送られていました。



— 自衛隊入隊者激励壮行会 —

2月27日(木)、役場4階ユイの里ホールにて令和元年度天城町自衛隊入隊者走行激励会が行われました。今年度は4名の方々が新たに自衛隊に入隊することとなりました。森田町長より「自衛隊という崇高な職業を選ばれた皆様に敬意を表し、これからのご活躍を祈念します」と祝辞が述べられたほか、自衛隊鹿児島地方協力本部中元副本部長より「同期や上司・先輩が皆さんの支えになります。鹿児島県出身者の先輩も数多くいますので共に頑張りましょう」と入隊する4名にエールが送られました。



天城町入隊予定者(写真右から)

里山ほづみさん 航空自衛隊(航空教育隊第1教育群)

木脇 鷹倅さん 陸上自衛隊(第12普通科連隊新隊員教育隊)

杉山 天馬さん 陸上自衛隊(第12普通科連隊新隊員教育隊)

杉山 将大さん 陸上自衛隊(第12普通科連隊新隊員教育隊)

— JICA研修生 徳之島各地でフィールドワーク —

2月18日(火)から3月1日(日)にかけて、JICA(独立行政法人国際協力機構)の7ヶ国12名の研修生が日本の地域づくりについて学ぶことを目的とした研修のため島内各地でフィールドワークを行いました。

25日から29日にかけては天城町内での活動が行われ、町長表敬訪問や農業センター見学、瀬滝集落との交流などが開催されました。27日の兼久小学校訪問では、児童たちが自分たちの校区の魅力ガイドする“われんきゃガイド”などが行われ、ちびっこガイドさんの解説に研修生たちは熱心に耳を傾けていました。



— 赤土新ばれいしょ「春一番」出発式 —



2月1日(土)、防災センターにて令和2年産徳之島地域赤土ばれいしょ「春一番」出発式が行われました。出発式には、生産農家の方々やJA関係者・全国の市場関係者や徳之島3町関係者などが参加、産地推進計画(達成目標)として出荷量1万トン、販売額20億円突破を掲げました。会場外でテープカットが行われたあと、出荷のトラックを見送り、

がんばろう三唱で産地としてのさらなる飛躍を誓いました。

出発式後は恒例のばれいしょフェスタが行われ、舞台発表や抽選会などで盛り上がりを見せていました。

一 天城町教育文化の町推進会議がんばり賞 一



2月25日(火)、役場4階ユイの里ホールにて天城町教育文化の町推進会議が開催され、令和元年度がんばり賞(児童生徒／一般部門)の表彰伝達式が行われました。がんばり賞は「日常生活や教育活動の中で、優れた資質や能力を生かし模範となる町民(児童・生徒)を表彰し、島への思いと住民同士の絆を大切にする「ユイの心」を育み、子どもと大人が共に成長し、今後の活躍を目指そうとする町全体の人づくりに資する」ことを目的とし、学校長からの推薦を経て、教育委員会で審議し、表彰するものです。児童生徒部門は春教育長より、一般部門は森田町長よりそれぞれ表彰を受けました。受賞者は以下の通りです。

がんばり賞受賞者

【児童生徒部門】

学芸賞：天城小学校5年生一同、貴島結奈(天城小6年)

武元耀太郎(岡前小6年)

宮村大雄・作田大和寿・秋窪奎秀・福林佑基・中田聖也

加納心南(岡前小6年)

廣田元(与名間分校4年)、嶺ちはる(西阿木名小6年)

上唐湊実(天城中3年)

読書賞：初田心音(天城小5年)

創意・科学賞：今田将太郎(天城中1年)

体育・健康・安全賞：順田士聖(天城小6年)、西元伸次郎(岡前小6年)

住田勇人(兼久小6年)、西松彩奈(天城中3年)

杉山美玲(北中3年)

ユイの心賞：田尻来唯亜(兼久小6年)、竹下翔(天城中3年)

磯野ほのか(北中3年)、有菌皇琉(北中3年)

住妃来(西阿木名中3年)、橋口怜生(西阿木名中3年)

【一般部門】

ユイの心賞：廣田鉄也(与名間)、松林照雄(天城)、瀬川裕美(瀬滝※勤務地)

各種団体育成賞：順田勉(天城)、芝田シヅ(西阿木名)、義村豊明(三京)

— 第14回クロスカントリー大会 —



2月9日(日)、天城クロスカントリーパークで第14回天城町クロスカントリー大会が開催されました。1km・3km・5kmのクラスで競われ、約120名が参加しました。参加者の皆さんは、起伏に富んだコースに時折苦戦しながらも、周辺の景色や自然を楽しみ

ながら、それぞれのペースでゴールを目指しました。

— 海上自衛隊佐世保音楽隊ふれあいコンサート —



1月26日(日)、海上自衛隊佐世保音楽隊ふれあいコンサートIN徳之島(徳之島三町主催)が徳之島町文化会館で行われました。29名の隊員による洗練された演奏に会場の多くの方が魅了されていました。また、この春に航空自衛隊に入隊予定の里山ほづみさん(徳之島高校3年)もサクソ演奏でゲスト出演するなど会場を盛り上げていました。

鹿児島県では、食品ロス[※]を削減するため、宴会
さんまる いちまる
 での「30・10運動」を奨励しています。



※「食品ロス」とは

本来はまだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のこと。宴会での食べ残しは、通常の外食の8倍にもなります。

<味わいタイム>

乾杯後**30分間**は、席を移動せずに料理を楽しむ！
 (歓談しながら料理を味わい、苦手な料理は放置せず人に譲りましょう。)

<食べきりタイム>

お開き前**10分間**、自席に戻り残った料理を食べきる！
 (各自が「食べきり」に心がけ、大皿・鍋等の料理も協力して完食しましょう。)

▶▶ 食品ロスについての詳細は、[こちら](#)
 (鹿児島県のホームページ)

鹿児島県 食品ロス

検索





天城町高齢者福祉計画及び 第7期介護保険事業計画事業実施進捗状況報告

令和2年2月14日 天城町役場において、天城町高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画事業実施進捗状況報告会を全委員出席の元、開催いたしました。



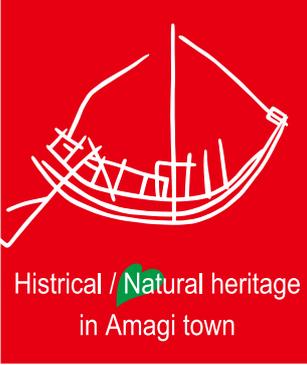
＜委員からの意見＞

1. 徳之島の医療・介護施設一覧表を作成する事により様々な場面で活用できる。
2. 地域の見守りについて、老連・単老など関係機関で横の連携をとっていく必要がある。
3. 福祉の問題を出張講座等を活用し、教育の場で取り上げていただきたい。

保険者からの事業進捗状況報告の後、参加された委員の皆様より様々な意見を頂きました。ありがとうございます。

来年度は第8期介護保険事業計画の策定年度になります。第7期介護保険事業計画の進捗状況を確認しながら、今後を見据えて第8期介護保険事業計画を策定していきたいと思えます。～笑って・動いて・つながって～の基本理念を基に今後も介護保険事業の推進を図っていききたいと思います。





野鳥観察だけでない!? トリトリデッキ

トリトリデッキが完成して7年、周辺で記録された鳥類はなんと**170種以上**。イメージキャラクターのモデルは世界的な希少種クロツラヘラサギですが、デッキ周辺では越冬だけでなく越夏もするため、ほぼ一年中見られる貴重な渡来地となっています。春秋の渡りシーズンには、天城町総合運動公園やその周辺に飛来する野鳥も多く、奄美群島で初のインドハッカや、森に住むルビタキも記録されています。また、干潟ではシオマネキ類やノコギリガザミ、海の昆虫ウミアメンボ、満潮になるとボラやミナミクロダイ、オニヒラアジなどの魚類も見られます。

無料で双眼鏡や望遠鏡を貸し出しています!	干潟で最多のカニといえば・・・	トリトリデッキ前の干潟で潮を招く?	体長5ミリ、海に住むウミアメンボ
	ヒメヤマトオサガニ	ヒメシオマネキ	
	カニ大好き、ズグロカモメ	令和元年の渡来数は、合計10羽に!	世界で2,500羽しかいない!?
世界で5,000羽足らず!?! 希少種クロツラヘラサギは かなりのカニ好き!			
	ヒメシオマネキが餌食に・・・	珍鳥、ソリハシセイタカシギ	
	町内では、200羽あまりが越冬するカワウ		
鬼対決!? オニアジサシが 捕まえたのはオニヒラアジ!			
	ムシロ瀬や新徳之島発電所周辺で見られるのは、ほとんどウミウ		
ボラを捕まえたミサゴは、魚専門のタカ	※干潟には、移植された外来種メヒルギが繁茂していますが、 河口域ではないためマングローブではなく、 メヒルギ群落 です。		
足の指がX字状についていて、がっちり捕まえます			ぶりっぴりのミナミクロダイ!

↓↓↓↓ 実は・・・干潟だけでなく、天城町総合運動公園も渡り鳥の宝庫です! ↓↓↓↓

超スマートなシギ セイタカシギ	3月にやってくる 奇鳥ヤツガシラ	国内では珍しい ホシムクドリ	なぜか南方から渡来して越冬する カラムドリ	小柄なハヤブサ、チョウゲンボウ
	本物の青い鳥? ルビタキ	ミヤマホオジロも、森の小鳥	奄美群島初!	こちらも奄美群島初!
			インドハッカ	タカサゴモズ

もっと情報が見られる
電子版はこちら





児童扶養手当制度のお知らせ

■ 児童扶養手当を受けられる方

次のいずれかに該当する児童を監護している母または父、及び母又は父にかわってその児童を養育している方が手当を受けられます。

なお「児童」とは18歳に達する日以後、最初の3月31日(18歳の年度末)までをいいます。また、心身おおむね中度以上の障害(特別児童扶養手当2級と同じ程度以上の障害)がある場合は、20歳未満まで手当が受けられます。いずれの場合でも国籍は問いません。



- ① 父母が離婚した児童
- ② 父母どちらか死亡した児童
- ③ 父母どちらか重度の障害の状態にある児童など

■ 令和2年度 児童扶養手当の額

※所得状況により異なります。

全部支給：43,160円 一部支給：43,150円～10,180円

*児童が2人以上の場合、上記金額に下記が加算されます。

2人目：全部支給：10,190円 一部支給：10,180円～ 5,100円

3人以降：全部支給：6,110円 一部支給：6,100円～ 3,060円

■ 手当が支給されない場合

- ① 申請者、児童が日本国内に住んでいないとき
- ② 児童が里親に委託されたり、児童福祉施設等に入所しているとき
- ③ 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるときなど

手続・お問い合わせ：天城町役場 長寿子育て課（保健福祉課） 電話：85-4114

特別児童扶養手当制度のお知らせ

20歳未満で、身体または精神に重度または中度以上の障害のあるお子さんを監護している父もしくは母、または父母にかわってその児童を養育している方が手当を受けられます。



■ 令和2年度 特別児童扶養手当の額

○ 1級（重度障害児）：月額 52,500円 ○ 2級（中度障害児）：月額 34,970円

■ 手当が支給されない場合

- ① 児童や、父もしくは母、または養育者が日本国内に住んでいないとき
- ② 児童が、障害を支給事由とする公的年金を受けられるとき
(児童扶養手当、児童手当、障害児福祉手当は年金ではありませんので併給できます)
- ③ 児童が、児童福祉施設等(保育所、通所施設、障害児入所施設への親子入所を除く)に入所しているとき

手続・お問い合わせ：天城町役場 長寿子育て課（保健福祉課） 電話：85-4114



「戦没者のご遺族の皆様へ」 第十一回特別弔慰金が支給されます

○支給対象者

戦没者の死亡当時のご遺族で、令和2年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番で**先順位のご遺族お一人**に代表として支給。

1. 令和2年4月1日までに、戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

2. 戦没者の子

3. 戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

4. 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪など）

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた方に限ります。

○支給内容 額面25万円（5年償還の記名国債）

○請求期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日

※請求期間を過ぎると第十一回特別弔慰金を受けることができなくなりますので、ご注意ください。

請求窓口 天城町役場 長寿子育て課（保険福祉課） 電話：85-5333

ひとり親家庭医療費助成制度のお知らせ

■ひとり親家庭医療費助成を受けることができる方

* 以下の児童を養育している母または父

* 父母にかわって以下の児童を養育している方

①父母が離婚した児童

②父母どちらか死亡した児童

③父母どちらか重度の障害の状態にある児童 など

■助成の範囲

保険診療（調剤）の一部負担金

■助成を受けるには

申請・登録が必要です。役場保健福祉課社会福祉係へお問い合わせください。



長寿子育て課（保健福祉課） 電話：85-4114



特別障害者手当・障害児福祉手当のお知らせ

精神又は身体に著しく重度の障害を有するために、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅の方の生活を向上させるために支給される手当です。

ただし、福祉施設に入所している方や長期間入院している方は、支給の対象外となる可能性があります。また、受給資格者、配偶者、扶養義務者の前年の所得額によっては、その年の8月から翌年の7月までを一つの期間として支給を停止する場合があります。

■特別障害者手当（20歳以上の方）：月額27,350円
（令和2年4月改定）

■障害児福祉手当（20歳未満の方）：月額14,880円（令和2年4月改定）

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

■問合せ先：鹿児島県徳之島事務所福祉課 Tel. 0997-82-0233



中長期在留者の皆様へのお知らせ

名瀬審査室開庁予定日（令和2年）

開設時間	第1日目 14:00~17:30	第2日目 9:00~12:00
1月	6日（月）	7日（火）
2月	3日（月）	4日（火）
3月	9日（月）	10日（火）
4月	13日（月）	14日（火）
5月	11日（月）	12日（火）
6月	8日（月）	9日（火）
7月	6日（月）	7日（火）
8月	3日（月）	4日（火）
9月	7日（月）	8日（火）
10月	5日（月）	6日（火）
11月	9日（月）	10日（火）
12月	7日（月）	8日（火）

（注意事項）

- 1 天候によっては、開庁日又は開庁する時間帯が急きょ変更されることもありますので、状況に応じて下記照会先まで確認願います。
- 2 各種申請手続き及び必要な資料等の相談については、下記照会先まで照会願います。

照会先：福岡出入国在留管理局 鹿児島出張所
鹿児島県鹿児島市浜町2-5-1 鹿児島港湾合同庁舎3階
電話番号：099-222-5658
照会時間：午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日を除く）
ご注意：名瀬審査室には電話は設置されておりません。



「たばこの煙のないお店」を 募集しています！！



● たばこの煙のないお店とは？

鹿児島県では、肺がんや循環器疾患などの生活習慣病予防対策の一環として、受動喫煙防止を推進するため、鹿児島市以外で全面禁煙に取り組む飲食店又は喫茶店を「たばこの煙のないお店」として登録し、ホームページなどを通じて県民の皆様に情報提供する制度を、平成26年3月から開始しました。

受動喫煙防止に取り組んでいる飲食店又は喫茶店の皆様、ぜひご登録ください。また、この機会に受動喫煙防止の取組をご検討ください。

● 登録対象

鹿児島市以外で「全面禁煙」に取り組む
「飲食店」又は「喫茶店」のうち、登録を希望する店舗
※ 登録には申請書の提出が必要となります。

鹿児島県 たばこの煙のないお店



申請窓口はこちら！！



大島支庁徳之島事務所保健衛生環境課（徳之島保健所）

所管区域：徳之島町，天城町，伊仙町，和泊町，知名町，与論町
〒891-7101 大島郡徳之島町亀津 4943-2

TEL0997-82-0149FAX0997-83-2535

メールアドレス：tokunoshima-kenzou@pref.kagoshima.lg.jp



相続手続を応援します！ ～「法定相続情報証明制度」～

平成29年5月29日から、全国の法務局で「法定相続情報証明制度」を開始しました。この制度は、法定相続人が誰であるのかを登記官が証明する制度です。

相続手続では、お亡くなりになられた方の戸籍謄本等の束を、相続手続を取り扱う各種窓口へ何度も出し直す必要があります。

法定相続情報証明制度は、登記所（法務局）に戸籍謄本等の束と相続関係を一覧に表した図（法定相続情報一覧図）を提出していただければ、登記官がその一覧図に認証文を付した写しを「無料」で必要な通数を交付する制度です。

この法定相続情報一覧図の写しを御利用いただくことで、相続に関する各種手続に戸籍謄本等の束を何度も出し直す必要がなくなり、預貯金の払戻し等、各種相続手続にかかる負担が少なくなりますので、御利用ください。

制度の詳細は、法務局ホームページ

(http://houmukyoku.moj.go.jp/homu/page7_000013.html)をご覧ください。

問合せ先：鹿児島地方法務局奄美支局（登記相談は予約制） 0997-52-0376



世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間について

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」、また、同日から8日までは「発達障害啓発週間」です。

自閉症をはじめとする発達障害の方は、他人の意図や感情を直感的に理解したり、言葉を適切に使うことなどが苦手な場合があります、学校や職場でさまざまな問題や困難に直面することがあります。

これらは、親のしつけや家庭環境が原因ではなく、脳機能の発達に関係するもので、見た目には障害があることがわかりにくいため、行動や態度が誤解されることがあります。

発達障害の特徴を知り、正しく理解していただくことが大切です。



▽問い合わせ先

県庁障害福祉課 電話：099(286)2744 FAX：099(286)5558

e-mail: s-ryouiku@pref.kagoshima.lg.jp

(2月1日現在)	
世帯数(戸)	3,078
総人口(人)	5,909
男	3,016
女	2,893

(1月届出分)	
出生(6)	死亡(12)
転入(8)	転出(6)

(3月1日現在)	
世帯数(戸)	3,078
総人口(人)	5,906
男	3,016
女	2,890

(2月届出分)	
出生(1)	死亡(6)
転入(10)	転出(8)

わたしたちのまち

(住民基本台帳人口)

政田 友良	稲山 勝也	熊坂 滯	川島 克仁
衣舞紀	七海		松原 松原
徳之島町	徳之島町	西阿木名	
天城			

いつまでもおしあわせに



吉見 文道	松山 蓮依	友良 心暖	富 皇波	山田 權生	泉田 優帆	氏名
哲文	雄之介	翔太	涼貴	翔平	帆稀	保護者
天城	岡前	徳之島町	平土野	松原	岡前	住所

おた
めん
でじ
ょう
う

町民の動き



令和2年1月1日から令和2年2月29日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

故人	高山 末夫	寄付者	高山 ミチ	金額	3万
	二木 シズ		二木 浩吉		3万
	松山 孝次		松山 政史		3万
	小屋 国彦		岡本 久美子		2万
	永井 秀夫		永井 甲		1万
	宮崎 嘉憲		宮崎 イワ		2万
	島 義雄		島 洋子		3万
	光 みゆき		光 智範		3万

香典返し



氏名	高山 末夫	年齢	(84)	住所	浅間
	武田 悦		(81)		浅間
	徳田 睦男		(76)		岡前
	島 義雄		(87)		浅間
	記原 喜和		(74)		天城
	井上 末人		(85)		天城
	西元 タカ子		(94)		松原
	永井 秀夫		(82)		岡前
	小屋 国彦		(65)		徳之島町
	三原 常男		(75)		岡前
	福田 文二		(77)		松原
	里林 昌		(88)		天城
	柏井 弘次		(84)		天城
	二木 末吉		(85)		浅間
	禎 和子		(89)		浅間

ごめいふくを
お祈りします



ゴミのポイ捨てや不法投棄はぜったいに止め
ましょう！
ペットは責任を持って適切に飼いましょう！
世界自然遺産登録へ向けて町民の皆様のご理
解ご協力をお願いします。



末っ子だけどもっちゃんくまし
い皆のアイドルです♥
中山 ^{あうひ} 桜妃ちゃん
英樹 兼久
平成31年2月5日



いつもにこにこ笑顔をありがと
う♥これからもういっぱい遊ぼ
うね！
義村 ^{おうすけ} 桜介ちゃん
茂 兼久
平成31年3月16日



まちのアイドル

ご掲載希望の方は下記まで
ご連絡ください。

☎85-5178

町政の動き

令和2年1月

令和2年2月

- | | |
|--|---|
| <p>31金 対馬市議会議員来庁
第2回天城町ゆたかなふるさと寄付金運
営協議会</p> <p>30木 第4回天城町まち・ひと・しごと創生本
部会</p> <p>29水 日本エアコミュニティ(株) 取締役役会
(霧島市)</p> <p>28火 KTS鹿児島テレビ番組推進部長・副部
長来庁
県庁用務(鹿児島市)</p> <p>27月 天城中学校「全国小中学校リズムダンス
ふれあいコンクール」出場報告</p> <p>26日 防衛協力諸団体合同賀詞交歓会
(鹿児島市)</p> <p>24金 鹿児島県農政課長来庁
(鹿児島市)</p> <p>22水 第33回トリアスロンIN徳之島大会特
別協賛事業所訪問(22日・23日)
(東京都)</p> <p>19日 東京奄美会新年賀詞交歓会(東京都)
(徳之島町)</p> <p>17金 鹿児島銀行経済同僚会新年会
鹿児島商工会館
第1回移住・定住促進会議
(伊仙町)</p> <p>16木 奄美大島青年会議所賀詞交換会
公益財団法人国際人材育成機構「外国人
材活用セミナー」(伊仙町)</p> <p>13月 奄美大島青年会議所賀詞交換会</p> <p>10金 徳之島中央家畜市場初ゼリ市
徳之島空港保安委員会</p> <p>9木 徳之島地区消防組合臨時議会(伊仙町)</p> <p>8水 区長会連絡協議会定例会
徳之島土地改良区理事会</p> <p>6月 令和2年天城町役場仕事始め式
年始あいさつまわり(島内)</p> <p>5日 北海道日本ハムファイターズ近藤健介選
手一行徳之島キャンブ歓迎セレモニー</p> <p>4土 令和2年天城町消防出初式</p> <p>3金 合同歳会の祝</p> <p>2木 令和2年天城町成人式</p> <p>1水 天城高千穂神社歳旦祭</p> | <p>日・曜日・諸会議・行事等報告</p> <p>1土 赤土新ばれいしょ「春一番」出発式及び
フェスタ</p> <p>3月 職員全体朝礼
さとうきび春植え出発式
徳之島地区森林組合理事会(徳之島町)
徳之島地区消防組合本署消防自動車安全
祈願祭(徳之島町)
第1回ゆめ・ときめきねりん芸能・レ
ク大会</p> <p>5水 徳之島三カ町議会議員大会
徳之島空港侵入事案対応訓練
議会全員協議会</p> <p>7金 天城町未収金徴収特別対策会議
第14回天城町クロスカウンター大会
ホストタウン関連事業「西見健吉選手の
レスリング体験教室」
ホストタウン相手国大使来町空港歓迎セ
レモニー及び大使と日本人オリンピックア
ンの合同交流会</p> <p>10月 第5回国産お茶フェス2020IN東京
及び令和元年度鹿児島県フラワーコンテ
スト表彰伝達式
西阿木名浄水場完成報告会</p> <p>11火 世界自然遺産奄美トレイル天城町エリア
開通式</p> <p>12水 環境省沖縄奄美自然環境事務所長来庁
市町村長ほか各種会議(奄美市)</p> <p>13木 令和2年第1回臨時議会
全天候型多目的施設基本計画策定委員会
第4回検討委員会</p> <p>16日 令和元年度生涯学習講座・中央女性学級
高齢者学級・教科セミナー合同開講式
鹿児島県糖業振興協会理事会
(鹿児島市)</p> <p>17月 第2回天城町教育文化の町推進本部会
(鹿児島市)</p> <p>18火 天城町防災会議
世界自然遺産地域連絡会議
(鹿児島市)</p> <p>20木 市町村長研修会ほか会議(鹿児島市)
JAL本社要望活動(東京都)
国土交通省等要望活動(東京都)
ホンダ熊本硬式野球部歓迎セレモニー
JICA研修生来庁</p> <p>19水 天城町福祉有償運送運営協議会委嘱状交
付「春一番」連絡協議会・ブランド産地推
進協議会
K.L.P.G.A.プロゴルフ「西村美希氏来
庁」
農林水産省九州農政局鹿児島県拠点地方
参事官来庁
天城町自衛隊入隊者壮行激励会
林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署
事務管理官来庁</p> |
|--|---|